

みとよしだんじょきょうどうさんかく

三豊市男女共同参画パンフレット

一人ひとりが 自分らしく輝くために



だんじょきょうどうさんかく
「男女共同参画」

って？

「女の子だから」とか「男の子だから」というように、性別だけでそれぞれの仕事を決めて押しつかけたり、向き不向きを決めつけたりしないで、みんなが「自分らしく」生きることをいいます。

みとよしだんじょきょうどうさんかくすいしんじょうれい
三豊市には「三豊市男女共同参画推進条例」というルールがあります。
じょうれい
条例(ルール)について、みんなで学んでいきましょう！

ささ 支え合うって大事だね！



家の中には、どんな仕事がありますか？

食事の準備じゅんびや片付けかたづ、洗たく物せんものなど…

みんなで協力きょうりやくしてできていますか？

あなたがした家の仕事で

喜よろこばれてうれしいのはどんな時ですか？

おうちの方へ

「女性は家事や育児などをして、男性は外で仕事」といった思い込みが根強く残っています。一人ひとりの個性や能力に関係なく、性別によってライフスタイルを決めつけていることはありませんか。

男女共同参画社会の実現の一步は、まず、家族がお互いの立場を理解し支え合う楽しい家庭づくりからはじまります。家の仕事を家族みんなが協力することで、家庭が明るくなります。

自分らしさでキラリ★



サッカーが上手な女の子、料理が上手な男の子を、どう思いますか？ あなたは、どんなことが好きですか？
どんなことが得意ですか？
男女にこだわらないで自分のやりたいことは
どんどんチャレンジしていきましょう。

おうちの方へ

人間には、生まれつきの生物学的性別があります。一方、「女の子は赤いランドセル」とか「男の子は泣いちゃダメ」という決めつけは、社会や文化が作り上げた「社会的性別（ジェンダー）」といいます。社会的性別にとらわれて「男の子」「女の子」を区別することは、子どもの行動やものごとへの関心を制限することにつながります。一人ひとりの子どもがもつ個性を大切に考えることで、子どもたちの可能性はぐっと広がっていきます。



じょうれい 条例(ルール)で決められていること！

- ① 男の子や女の子、その他のあらゆるすべての人を大切にしましょう。
- ② 「女の子だから」とか「男の子だから」といって差別したり、仕事を決めて押しつけることはやめましょう。
- ③ 一人ひとりがもつ力の違いを理解し、もっている力を十分に出すことができるようにしましょう。
- ④ 何かを決めるときは、男の子も女の子も、意見を出しあい、お互いの意見を聞きながら進めていきましょう。
- ⑤ 女の子だけが得をしたり、男の子だけが得をしたりするような決めごとをなくし、みんな平等になるようにしましょう。
- ⑥ 家の仕事は家族みんなで協力し合って、分担しましょう。
- ⑦ 悪口を言ってお互いを傷つけたり、暴力を振るったりしないで、みんなでなかよくしましょう。



おうちの方へのメッセージ

みなさんは、「女(男)のくせに」「女(男)らしく」と言われた経験はありませんか。そんな風に言われることを、どのように感じていましたか。

性別だけで区別されることに「自分らしさ」が否定されるような違和感を覚えたことはなかったでしょうか。

大人が無意識のうちに、男らしさ、女らしさという枠の中に子どもたちを当てはめてしまうことが、子どもたちの行動や考えに大きな影響を与えています。

子どもたち一人ひとりが個性と能力を存分に発揮できるよう、子どもへの接し方について、学校や家庭で改めて考えてみましょう。

【発行】

三豊市役所政策部田園都市推進課

〒767-8585

三豊市高瀬町下勝間 2373 番地 1

電話：0875-73-3011

FAX：0875-73-3022

ホームページ：<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>

